

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2019-37473(P2019-37473A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-161766(P2017-161766)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月13日(2019.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
演出制御を行う制御手段が設けられた第 1 基板と、
演出制御に関連する演出情報を記憶する記憶手段が設けられた第 2 基板とを備え、
前記記憶手段には、あらかじめ認証情報が記憶され、
前記制御手段は、
前記記憶手段に記憶されている前記認証情報にもとづいて認証処理を実行可能であり、
前記認証処理にて認証成功となったことにもとづいて、演出制御を実行可能であり、認証処理にて認証失敗となったことにもとづいて、認証失敗となったことを報知する制御を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

(手段 1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、演出制御を行う制御手段(例えば、演出制御用 C P U 1 2 0)が設けられた第 1 基板(例えば、演出制御基板 1 2)と、演出制御に関連する演出情報(例えば、各種画像データ)を記憶する記憶手段(例えば、C G R O M 1 4 1)が設けられた第 2 基板(例えば、演出制御用中継基板 1 6 A)とを備え、記憶手段には、あらかじめ認証情報が記憶され(例えば、C G R O M 1 4 1 には、認証データが記憶されている)、制御手段は、記憶手段に記憶されている認証情報にもとづいて認証処理を実行可能であり(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 1 2 0 A は、ステップ S 5 0 B を実行し、C G R O M 1 4 1 から読み出した認証データと R O M 1 3 5 に記憶されている認証データとを照合して認証処理を行う)、認証処理にて認証成功となったことにもとづいて、演出制御を実行可能であり、認証処理にて認証失敗となったことにもとづいて、認証失敗となったことを報知する制御を実行可能である(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 1 2 0 A は、ステップ S 5 0 C で Y のと

きにステップ S 5 1 以降の処理に移行し、認証に成功したことにもとづいて初期演出データ転送処理 (S 5 1 D) を含む各種演出制御の処理を実行する) ことを特徴とする。そのような構成によれば、制御手段が設けられた基板と記憶手段が設けられた基板との間で適正な接続関係を確保することができる。